

平成27年度 白鷹町重要事業要望

白鷹町では、町の将来像「笑顔かがやき心かよう美しいまち」を実現するためのまちづくりを進めています。まちづくりが着実に実現するよう、来年度の重要事業として次のことを国や県に対し要望していきます。

緊急要望

国道287号白鷹町大瀬地 内地すべりの早期復旧

大規模な地すべりが発生し、3月末より全面通行止めとなっている大瀬地内国道287号については、全面復旧まで長期化する見込みです。周辺住民にとっては緊急時に対する不安もあり、地域経済や観光面への影響も大きく、4月には白鷹・朝日の両町長が共に吉村知事を訪れ早期復旧を求める緊急要望書を提出しました。住民の生活と経済活動を維持するため、迂回路の安全確保及び地すべり対策と早期の全面復旧を町の最優先課題として、引き続き要望を実施していきます。



① 白鷹高等専修学校への支援の充実について

白鷹高等専修学校は、県立霞城学園高校の技能連携校として高等学校卒業資格を取得することができ、指定高等課程を有する専修学校として補助金の交付を受けていますが、私立高等学校への補助金とは大きな差があるため、私立高等学校と同等程度の支援を要望していきます。



▲服飾などを専門科目とする白鷹高等専修学校

② 地方財源の確保充実

財政力の弱い過疎の地方公共団体が地域の特色を生かし

た魅力あるまちづくりを主体的に推進するため、地方交付税制度等の地方財源の確保充実について要望しています。

③ フラワー長井線の利用拡大に対する支援

フラワー長井線は、高校生以上の利用が多くを占めています。少子化の影響により利用者が年々減少しています。地域住民の生活に欠かせない交通手段として、フラワー長井線の存続に向け、山形鉄道株式会社の経営改善に係る財政支援の継続・拡充を要望しています。



▲フラワー長井線100周年スマイルプロジェクト

④ デマンド交通に対する支援の拡充

自家用車などの交通手段を持たない高齢者や子どもたちの生活交通を確保するために平成20年度から導入しているデマンド型交通システムに対する市町村総合交付金制度の拡充について要望しています。

⑤ 公共用建築物整備に対する木材利用の促進

木材利用の促進の観点から、木材利用の公共施設及び公用施設整備に対する助成制度の拡充や財政支援措置の拡充について要望しています。

⑥ 荒砥橋整備の事業推進

現在の荒砥橋は、幅員が狭く、大型車両のすれ違いや緊急車両の通行に支障をきたし、通勤時間には渋滞が発生しています。冬期間には積雪によりさらに狭くなり、除雪作業時は片側通行を余儀なくされています。また、完成から56年が経過し老朽化が進み、